

## 陳情第1375号「市バス・地下鉄のテロ等に対する対策の強化」について

交通局では、輸送の安全は交通事業者の最大の責務であるとの認識のもと、これまでから事故の防止はもとより、テロ等への対策についても、不審物の発見時や爆破予告を受けた時など、有事の際に的確な対応が行えるよう、テロに対応したマニュアルを整備するとともに、国や京都府警察と連携して対策の強化に取り組んでいます。

これらの取組については、国の運輸安全マネジメント制度の施策の一環として、随時、必要な改善を行うとともに、「安全報告書」を作成して、お客様や市民の皆様が取組内容を公表しています。

## 1 「バスターミナル、駅構内、市バス・地下鉄車内での対策強化」について

## (1) バスターミナルにおける対策

- ・ 京都駅前・北大路・洛西の各バスターミナルにおいて、職員や警備員による巡回を行い、不審者や不審物に対する警戒を行っています。

## (2) 駅構内における対策

- ・ お客様が非常時や不審物発見時に駅係員に連絡ができるよう、通報装置をホームや出入口付近などに設置しています。
- ・ お客様の安全を確保するため、ホームや通路、駅出入口等に防犯カメラを設置し、駅係員が適宜、監視しています。全駅で1,042台のカメラがあり、更新時期等に合わせて、なるべく死角をなくすよう増設も進めています。
- ・ 不審物等を放置されないように、ゴミ箱を有人改札口付近の1箇所に集約して駅係員の目が届くようにしています。
- ・ 1日5回以上、駅係員による巡回を行い、不審者や不審物に対する警戒を行っています。
- ・ 全駅に防護盾及びさすまたを配備し、有事の際のお客様の安全確保を図っています。



駅構内通報装置



駅構内防犯カメラ

### (3) 市バス車内における対策

- ・ 刃物やガソリン等，危険物の車内への持込みを禁止しています。
- ・ 乗務員が出入庫時に必ず車内点検を実施し，不審物等がないかを確認しています。
- ・ 車内外にドライブレコーダーのカメラを設置し，映像を記録していることをステッカーで表示しています。



車内ドライブレコーダー

### (4) 地下鉄車内における対策

- ・ 刃物やガソリン等，危険物の車内への持込みを禁止しています。
- ・ お客様が非常時や不審物発見時に乗務員に連絡ができるよう，通報装置を各車両に設置しています。
- ・ 乗務員が終端駅において必ず車内点検を実施し，不審物等がないかを確認しています。

## 2 「市民，事業者，観光客にテロ等の対策協力呼掛け」について

### (1) 市バスにおける対策

- ・ バスターミナルや上屋付き停留所の壁面に「テロ対策特別警戒実施中」の啓発ステッカーを掲出するとともに，バスターミナルでは職員や警備員による巡回及び構内放送を実施し，不審物を発見した際は係員や乗務員にお知らせいただくよう，お客様に協力要請を行っています。



上屋付き停留所に設置した啓発ステッカー

## (2) 地下鉄における対策

- ・ 構内放送，行先案内表示器のテロップ及びポスターにより，不審物を発見した際は駅係員や乗務員にお知らせいただくよう，お客様に協力要請を行っています。
- ・ 本年8月6日に小田急線の車内において発生した傷害事件を受け，鉄道業界共通のポスターを掲出し，巡回や防犯カメラにより警戒を行っていることをお知らせするとともに，非常時や不審物を発見した際には通報装置で駅係員・乗務員にお知らせいただくよう，協力要請を行っています。



駅構内に掲出している鉄道業界共通のポスター

## 3 「警察，消防等と様々なケースを想定した合同訓練の積極実施」について

### (1) 市バスにおける対策

- ・ テロ災害等を想定した訓練を，警察及び消防機関と連携して，毎年実施しています。
- ・ 沿線の京都府警察各警察署に設置されている「テロ対策ネットワーク」に参画し，情報の共有やテロ・ゲリラ防圧のための図上訓練を行うなど，有事を想定した連携強化に取り組んでいます。
- ・ 毎年1回（夏期の多客時），バス営業所やバスターミナルにおけるテロ対策の取組状況について，近畿運輸局京都運輸支局による視察を受けています。



警察及び消防機関と連携したテロ対策訓練

## (2) 地下鉄における対策

- ・ テロ災害等を想定した訓練を、警察及び消防機関と連携して、毎年実施しています（令和2年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により中止）。
- ・ 国土交通省が開催している「鉄道テロ対策連絡会議」に参画するとともに、沿線の京都府警察各警察署に設置されている「テロ対策ネットワーク」にも参画し、情報の共有やテロ対策の図上訓練を行うなど、鉄道のセキュリティ確保に取り組んでいます。



警察及び消防機関と連携したテロ対策訓練

## 4 今後の取組

市バス・地下鉄の輸送の安全・安心を確保する観点から、テロ対策に取り組むことは重要です。特に、サミットなど、テロの標的となり得る会議等の開催時には、国土交通省からの通達に基づき、更なるテロ対策の強化・徹底を行っており、今後も継続して取り組んでまいります。

また、これまでから、事故や災害・テロ等を想定して、警察、消防及び他事業者と連携した訓練を実施してきており、引き続き、関係機関との連携強化に努めるとともに、お客様にテロ等の対策の協力要請を行ってまいります。

さらに、他事業者で生じた事案を受け、国において今後の対策の検討が進められており、交通局においても、これまで策定した各種マニュアルの検証・更新を行い、しっかりと対策を講じてまいります。